

平成18年度 前橋市埋蔵文化財発掘調査

い・せ・まワールド in 前橋 2006

大型の掘立柱建物跡発見!

元総社蒼海遺跡群(9)(10) 掘立柱建物跡は、東西が28m・南北が6mもあります。人の大きさと比べてみましょう。

今年度も前橋市内の多くの場所で、発掘調査が行われました。多くの作業員さんや地元の方々の協力の下に、暑い夏から寒い冬まで調査が行われました。発掘調査のまとめとして、今までは「前橋の遺跡」という小冊子を発行してきましたが、今回からは両面印刷のパンフレットを作成しました。前橋市のどこでどんなものが発掘で見つかったのか、速報としてなるべくわかりやすくまとめました。たくさんの方にこのパンフレットを見ていただき、昔の人々の暮らしに少しでも目を向け、身の回りにある文化財を大切にいただければ幸いです。

2006年の発掘調査



山王廃寺



総社町山王にある山王廃寺は今から1300年前、7世紀に建てられたお寺です。写真は、山王廃寺の中の講堂の基礎(きそ)の様子です。いろいろな土をつき固められているのがわかります。今回の調査で、講堂の大きさは、おおよそ東西30m・南北24mであることがわかりました。



屋根のかわら

発掘調査では、住居跡、土坑、溝などの生活の跡や、おわん、かめ、つぼなどの道具がたくさん見つかりました。発掘調査でわかったことをまとめると次のように大きく3つに分けられます。

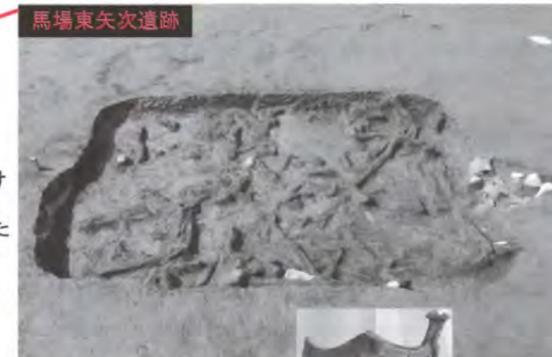
- ①奈良時代に群馬の中心地だった国府(今でいうと県庁)は元総社町にあり、そこには多くの人々が生活していました。
- ②前橋市の南部では、平安時代後期に水田耕作を行っていました。
- ③赤城山の南側斜面では、縄文時代に狩りが行われており、はなやかな土器も作られていました。

五代伊勢宮遺跡(1)



縄文時代の土坑(食料をしまった穴)がたくさん見つかりました。石や土器も捨てられていました。以前、この遺跡の東側と西側を調査しました。やはり縄文時代の土坑がたくさん見つかり、円形に土坑が並んでいることがわかりました。

馬場東矢次遺跡



10世紀(900年代)の住居跡です。焼けた木材がたくさん見つかったことから、火事があったものと考えられます。また木材の間には、屋根に使われていたワラも見つかりました。他にも縄文時代の住居跡や土器(4000年前)がたくさん見つかりました。



縄文土器

横沢五反田遺跡

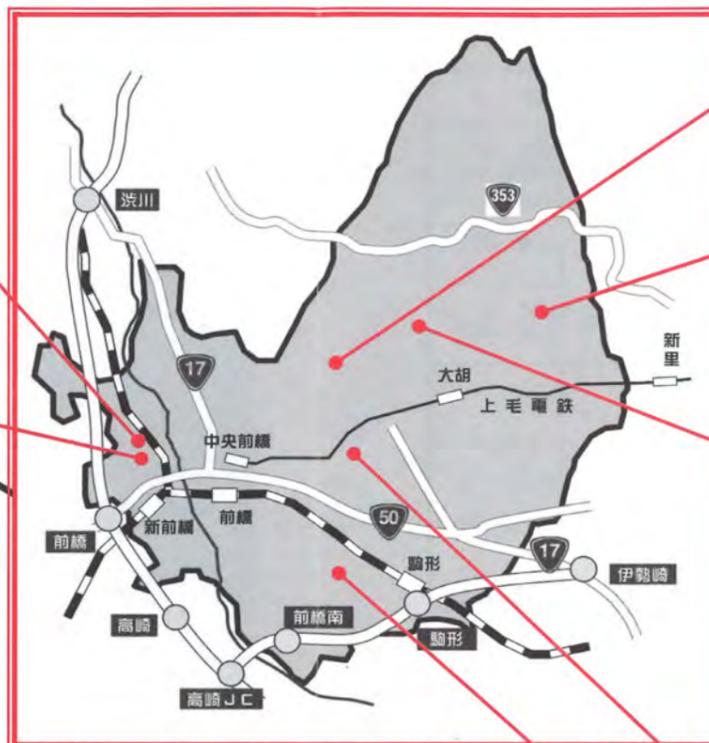


縄文時代前半(約6,000年前)の落とし穴です。底の中央に杭(棒)を立てて、シカやイノシシが落ちたらつきささって、つかまえることができるようになっています。生きていくためにとても工夫した仕掛けを作っていたのです。

石関西田遺跡Ⅲ



平安時代後半の水田跡が見つかりました。白線は水田のアゼです。およそ東西方向(写真は上が北側)に水田をつくっていることがわかります。約13m×10mの大きさで、今の水田よりも小さめなんですね。



元総社蒼海遺跡群(8)~(12)

前橋市が区画整理を行う(ここでは新しい道路をつくる)前に、昔のものがあらかどうか調べるために、発掘調査を行いました。

縄文時代晩期(3,000~2,500年前)の住居跡で、この場所では初めて見つかりました。縄文土器もたくさん出ました。家の真ん中に石で囲まれた炉(ろ)火を使うところ)があって、まわりに柱穴があります。大昔に人々が生活していたことがわかります。

蒼海(8)



奈良時代の住居跡のカマドです。えんとつは細長く、まわりには土器とやわらかい石を使っています。使わなくなった土器をリサイクルして、家を造っているのです。とても工夫しています。袖(そで)カマドの手前にある火をたくところの周りの部分)にも石を使っています。じょうぶな家を造っていたのです。



縄文土器

蒼海(9)



蒼海(10)



右側に見える大きな溝(平安時代)は、国府の周りを区切るものと考えられ、ちょうど国府の北側にあたります。この調査から、はば約5m、深さが約2mあることがわかりました。これほど大きな溝を造るのは、大変な作業だったでしょう。

蒼海(11)



7世紀(600年代)の古墳時代の住居跡です。このころは大きな家が造られました。粘土と土器を使った大きなカマドとしっかりした柱穴があります。かべぎわには、湿気をとるための溝がほられています。

蒼海(12)



古墳時代から平安時代までの住居跡がたくさん見つかりました。およそ500年の間に時代をこえて、たくさん家が重なって造られているのがわかります。この場所には多くの人々が暮らしていたのです。

広瀬木ノ宮遺跡



古墳時代から平安時代までの住居跡が見つかりました。おそらく倉庫として使われていた掘立柱建物跡も見つかりました。豪族(ごうぞく)の館に関係があるのかも知れません。

発掘調査場所一覧表

2005年度

2006年度

遺跡名	町名	見つかったもの	主な時代	遺跡名	町名	見つかったもの	主な時代
いとせきめい 元総社蒼海遺跡群(1)	元総社町	住居跡、土坑、溝	古墳～平安	元総社蒼海遺跡群(8)	元総社町	住居跡、土坑、溝	古墳～平安
元総社蒼海遺跡群(2)	元総社町	住居跡、土坑、溝、墓、井戸	古墳～平安 室町	元総社蒼海遺跡群(9)	元総社町	住居跡、土坑、溝	縄文 古墳～平安 室町
元総社蒼海遺跡群(4)	元総社町	住居跡、土坑、溝	縄文 古墳～平安	元総社蒼海遺跡群(10)	元総社町		
元総社蒼海遺跡群(5)	元総社町	住居跡、土坑、溝、墓	古墳～平安 室町	元総社蒼海遺跡群(11)	元総社町	住居跡、土坑、溝	古墳～平安
元総社蒼海遺跡群(6)	元総社町	住居跡、土坑、溝、墓、井戸	奈良～平安	元総社蒼海遺跡群(12)	元総社町	住居跡、土坑、溝、墓、井戸	古墳～平安 室町
元総社蒼海遺跡群(7)	元総社町	住居跡、土坑、溝、墓、井戸	奈良～平安	ばばひがしやつぎ 馬場東矢次遺跡	馬場町	住居跡、土坑、溝	縄文 古墳～平安
ろくく 六供遺跡群	六供町	住居跡、土坑、溝、水田跡	古墳～平安	ひろせきのみや 広瀬木ノ宮遺跡	広瀬町	住居跡、土坑、溝、井戸	古墳～平安
こさかしちきみね 小坂子一木峯遺跡Ⅱ	小坂子町	住居跡、土坑、溝	奈良～平安	ごたいせみや 五代伊勢宮遺跡(1)	五代町	住居跡、土坑、溝	縄文 古墳～平安
てんじんぶろ 天神風呂遺跡	もときまち 茂木町	住居跡、土坑	古墳～平安 室町	いしげきにした 石関西田遺跡Ⅲ	石関町	溝、水田跡	平安
かわまがりやなぎばし 川曲柳橋Ⅲ遺跡	川曲町	溝、水田跡	平安	さんのうはいじ 山王麁寺	総社町	講堂、回廊、住居跡、溝	古墳～平安
※住居跡(じゆうきよあと)・・・家が建っていた跡 土坑(どこう)・・・落とし穴やものをたくわえるための穴 講堂(こうどう)・・・お坊さんが修行をする所 回廊(かいろう)・・・寺などの建物を囲む屋根のついた廊下				よこざわごたんだ 横沢五反田遺跡	横沢町	土坑	縄文



文化財保護課では・・・今

～今年度は、こんなことも行いました。
来年度も行う予定ですので、ぜひ参加してください。～

古代生活体験事業
大昔の人の知恵や願いを体験しよう！
4つの会場で、縄文土器、まが玉、土偶(どぐう)作りを行いました。
それぞれ世界に一つだけの作品ができました。

出張授業「おもしろ文化財教室」
小・中学校からの依頼を受け、歴史学習のお手伝いをしています。
今年は、勾玉作りや土器作り、古墳での現地学習などを行いました。

大室古墳群市民ボランティア解説員
市民ボランティアの案内による大室古墳群(大室公園内)の見学会を2回行いました。参加した人からは「古墳についてよくわかった」と好評であり、案内したボランティアも大喜びでした。

前二子古墳石室復元市民プロジェクト
国指定史跡の前二子古墳の石室内部を、1878年に発掘された当時の姿に再現するプロジェクトを、3年計画で実施することになりました。
1年目の今年度は、土器95点を作りました。窯(かま)で焼いた須恵器(すえき)60点、野焼きした土師器(はじき)35点です。来年度は金属製品馬具の復元を予定しています。

前橋市文化財展
「いにしへのロマンを訪ねて 山王麁寺～塑像にこめられた想い～」と題して移動文化財展を行いました。山王麁寺は総社町総社に7世紀(600年代)後半に建てられた古代寺院です。
この寺院から発見された奈良の法隆寺にならぶ塑像(そぞう…粘土で作られた仏像)を展示しました。

●問い合わせ●

平成19年3月31日発行 前橋市教育委員会文化財保護課
前橋市三俣町二丁目10-2 電話027-231-9875・9531 FAX027-231-9862
<http://www.city.maebashi.gunma.jp/>
Eメール bunkazai@city.maebashi.gunma.jp